

金子成人さんを佐世保観光名誉大使に任命

10月22日(土)、本市と佐世保観光コンベンション協会は、本市出身で脚本家・小説家として活躍する金子成人さんを佐世保観光名誉大使に任命し、市内で委嘱状を授与しました。任命された金子さんは「佐世保を舞台にした脚本などを書いたこともあるが、これからは折に触れて佐世保が明るい観光地であると広めていきたい」とあいさつしました。佐世保観光名誉大使は佐世保にゆかりがあり、各界で活躍されている著名人に本市の観光PRなどに協力していただくもので、任命は今回で11件目となります。



☎観光課 ☎24-1111

シリーズ国際交流⑦「佐世保で印象的だったこと」中国国際交流員 初祺(ショ・キ)

佐世保に来てからあっという間に半年が経ちました。今回は深く印象に残った出来事を紹介したいと思います。

よさこいチームの演舞の見学

先日、よさこいチームの練習を見学しに行きました。以前、他の都市で本番を見たことはありませんでしたが、練習段階で見るとは今回が初めてです。

演舞が始まり、私は最初の掛け声を聞いたときに大変驚きました。とても気が入った掛け声でした。私はこれまで語学を勉強する日本人を多く見てきましたが、皆さんはほとんどが恥ずかしがりやで、シャイというようなイメージが強かったのです。こんな大きな声を出せるとは思わなかったし、まだ本番ではないのに本当に感動しました。今まで私が持っていたイメージを改める必要があるかもしれませんね。

徒歩で登った弓張岳展望台

家の近くに「弓張岳展望台3.9km」という標識があり、いつでも登れると思っていましたが、結局、半年過ぎてまだまだ1回も登ったことがありませんでした。

この思いを実現しなければと思っていたとき、先月、家族が来日し、一緒に登るタイミングが訪れました。登り始めは階段が多く、ここで、やっと、これは平坦な道の3.9キロとは違うと認識しました。途中で、諦めようかと一瞬思いましたが、半年間の思いがこれで終わるのはちょっと気が

濟みません。もうひと頑張りです。やっとの思いで登っていくと、だんだん視界が開けてきて、佐世保湾を見下ろすことができました。港の景色も山道の景色もどちらもきれいで、疲れていたことは全部忘れられました。新鮮な空気を吸い、写真を撮りながら、出発から2時間半後にやっと弓張岳展望台に着きました。第二展望台から目の前に九十九島の景色が広がり、こんなきれいな景色が見られて、諦めずに良かったと思ひ、私の家族も大満足でした。また、第一展望台で港と佐世保のまちの全貌も見られました。私は以前、車で展望台に来て景色を見たことがありますが、やっぱり、自分の足で一歩一歩歩き、汗をかいた後の展望は最高です。近いうちに、もう一回登ってみたいです。



佐世保は豊かな自然に恵まれ、私はこのような恵まれた環境の中で生活できて幸せです。1年間だけこちらにいる私にとって、残り時間はわずかですが、もっともっと佐世保について知りたい、存分に堪能したい、いっぱい良い思い出を作りたいと思います。皆さん、これからの半年もよろしくお祈りします。

☎国際政策課 ☎24-1111

人の動き

11月1日 現在

- 総人口 253,856人(-54人)
- 男性 119,637人(+15人)、女性 134,219人(-69人)
- 世帯数 105,522世帯(+6世帯)

※10月中の動き

転入534人、転出497人、出生174人、死亡265人

11月1日現在の人口や世帯数は平成27年国勢調査の確定値を基に集計したものです(前月号までは平成22年国勢調査を基に集計) 問い合わせ 政策経営課 ☎24-1111

させぼ市政だより

- テレビ NBC 土曜9時25分~30分、NCC 土曜11時40分~45分 KTN 土曜11時45分~50分、NIB 日曜6時30分~35分
- ラジオ NBC 日曜 9時25分~30分、FM長崎 火曜 9時5分~10分 FMさせぼ 火曜10時30分~35分・日曜 9時30分~35分
- 新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

※12月放送のキラっ都させぼのテーマは「炭鉱の歴史を今に伝える 佐世保の石橋」です。どうぞご覧ください。

市長日記 / 今「島美(しまび)」がおもしろい!



最近、「佐世保市博物館島瀬美術センター」を「島美(しまび)」と呼ぶ人が多くなり、それとともに、市民の方々から「島美が良くなったね」という声をよく耳にするようになりました。

そうした折、10月のある日、「島美が全国1位になった」との報告を受けました。それは雑誌「月刊アートコレクターズ」が昨年度の国公立美術館の「自主企画展数」を調査したもので、島美が全国的に有名な金沢21世紀美術館や東京国立近代美術館、札幌芸術の森美術館などを押さえて圧倒的な差の1位に輝き、同誌10月号に掲載されたということでした(第1位=島美30展、第2位=札幌芸術の森美術館13展)。

近年の島美の来場者数などは表1のとおりで、どの項目も著しい伸びを見せています。島美はこうした成果について、次のような取り組みが実を結んだのではないかと分析しています。

- 平成26年度から、企画展や館所蔵品展など、自主事業を積極的に展開したこと
- 佐世保らしい展覧会を企画し、開催したこと
- 「移動美術館in佐世保」の開催など、長崎県美術館との連携を強化してきたこと
- 展覧会だけでなく、ミュージアムコンサートやワ-

表1 島瀬美術センター自主企画展数など

区分	23年度	27年度
自主企画展数	3	30
自主企画入場者数(人)	2,596	14,193
貸館展示数	98	111
貸館展示入場者数(人)	62,887	70,261
総展示数	101	141
総入場者数(人)	65,483	84,454
稼働率(%)	67.3	94.0

クショップを実施することで、話題を発信し集客性の向上を図っていること など

現在の館長は民間の美術館を退職後、平成25年6月から島美の館長に就任していただいています。職員とともに、市民の期待に応える美術館づくりに励んでいただいております。大変喜ばしく思います。

島美はこれからも市民の皆さんに親しまれる美術館を目指し、さまざまな企画を展開してまいりますので、皆さまには引き続きご来館いただきますようお願いいたします。

また、佐世保は日本一洞窟遺跡の多い地域であり、島美5階には福井洞窟をはじめ日本で最古級のさまざまな埋蔵文化財を展示していますので、こちらも併せてご覧ください。

佐世保市長 朝長 則男

徳育通信 ⑤ 聞いて「徳」する話 譲り合いとありがとうの気持ち

前方から人の姿。この歩道でのすれ違いは無理だとすぐ分かる。とっさに安全を確かめて一段低い車道に下りて進む。すれ違いざまに「ありがとうございます」。思いもよらない言葉に私は一瞬いい気持ちに。自分の何気ない行動にお礼の言葉もらったことと、このような言葉掛けはめったにないことだからです。

逆に、狭い小道で、すれ違いを私より先に気づき、少し広い所で立ち止まって待ってくれた向かい側の人に、私は「ありがとうございます」の言葉や会釈を心掛けています。

このようなことは、車の運転中でもよく経験することです。対向車同士の譲り合いとお礼の気持ちを込めた身振りなどです。そんなときも、とてもいい気持ちにな

ります。

私はこれからも歩くときや車を運転するとき、「譲り合い」と「ありがとうございます」の気持ちを心掛けて道路でのマナー向上や事故防止に努めたいと思っています。

折橋町 近藤 幹男(70代)

「聞いて徳する話」募集中

身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙に必要事項を記入し、事務局に応募してください。応募用紙は市HPからどうぞ。
【事務局】佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号 電話:ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

※この徳育通信を切り抜いてノートに貼り、「徳育ノート」として家庭で保管しましょう!